

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



富士吉田市立下吉田中学校

教諭 山口 実咲喜

担当教科 英語

令和4年度採用

岐阜県出身

◆学校の先生になった理由

きっかけは教員である母や祖父母の姿を幼い頃から見ていたことです。学校で子供と関わりながら働く母や祖父母の姿がかっこいいと感じ、教員という職に興味を持ち始めました。

その後、色々な職も考え、就職活動もしていましたが、実際に教育実習で先生という立場を経験した時に、子供たちと関わり、対話することを通して、毎日生徒から多くの学びを得られる教員という職にとってもやりがいを感じたので学校の先生になりたいと考えました。

◆学校の先生の「やりがい」や「魅力」

私が学校の先生をしていて「やりがい」・「魅力」だと感じることは、やはり子供たちの反応です。すべてが自分の期待した通りに行くわけではありませんが、授業や普段の関わりを通して生徒から「先生、これができるようになった！」や「先生のおかげで英語が好きになった！」などと話しかけてくれる姿を見て、やってよかったと思いますし、次からも頑張ることができています。また自分の思いつかなかったような意見が出てきた時にはそんな意見もあるのかと、自分の学びにもなっています。

◆学校の先生として心がけていること

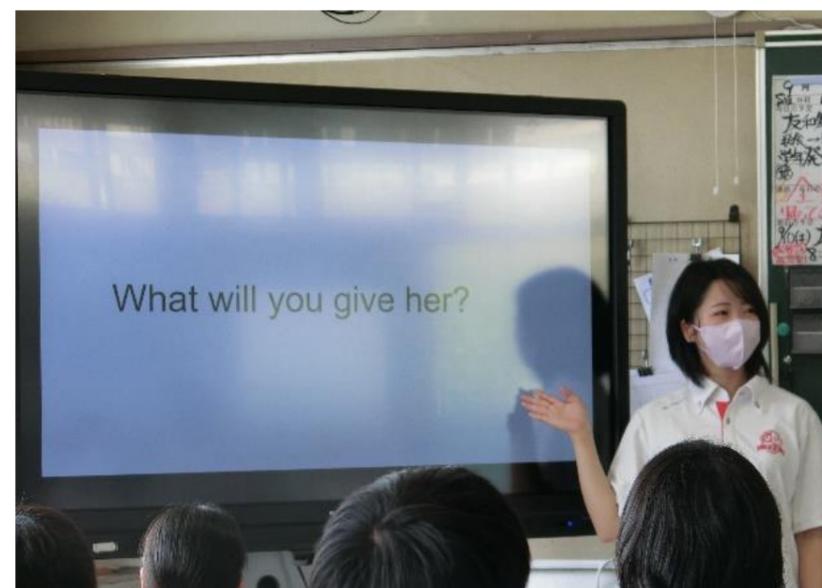
私が学校の先生として心がけていることは、生徒の行動や様子をよく見ることです。それは自分と関わっている時だけではなく、クラスの中で友達と関わる様子や、部活動の中での様子も含めてです。生徒にとって安心して過ごせる教室であるために、そして信頼できる教師となるために、なるべく生徒と過ごす時間を増やし、生徒がどのような人間関係を築いているのか、何か困っていることはないか早く気付けるように気を付けています。

◆山梨県を選んだ理由

私が山梨県を選んだ理由は2つあります。一つ目は住みやすい場所であるということです。私は県外出身ですが、大学への進学を機に山梨県に移り住みました。大学生の頃から自然が豊かで、文化的な物も多く素敵なところだと感じていました。二つ目は教育に熱心な先生が多いということです。大学で教育について学んでいく中で、山梨県で教員をされている方のお話を伺う機会がありました。その方も教育に対してとても熱心な方だったので、山梨県が教育に大変力を入れていることを知り、そんな山梨県で教員をしたいと思います。

◆私が目指す学校の先生像

私の目指す学校の先生像は、生徒から信頼され、生徒に寄り添うことのできる先生です。生徒が安心して学校での生活を送ることができる事が大切な事だと思います。そんな教室を作るために、生徒が困ったことがある時や、何か心配事がある時などにすぐ相談できる様な関係作りをし、生徒との信頼関係を作っていきたいです。まだまだ未熟な私ですが、理想の先生になれるように、生徒に寄り添い、信頼される様、これからの教育活動に当たっていきたいと思います。



◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

私は学校で、毎日子供たちから多くの刺激をもらいながら、楽しい日々を過ごしています。時には大変なこともあります。子供たちの頑張る姿や、こちらの働きかけに応えてくれる姿

を見るとやって良かったと思うことができます。また、周囲の先生方も優しくしてくださるので、大変なことがあった時も一人ではないと思いながら動くことができます。周囲の先生は相談にも乗ってくださいますし、チームで動いているという実感を持ちながら働くことができます。是非山梨県で教員になって一緒に働きましょう。

◆わたしの学校（職場）の雰囲気

私の学校の先生方は生徒のことを第一に考え指導に当たってらっしゃるので、職員室内でも生徒の話や教育の話を熱心に語り合える雰囲気です。色々な先生の考え方を伺うことができますので、日頃の学級経営や授業作りの参考にさせていただいています。また、普段の授業作りにも熱心に取り組んでおられる先生が多く、私が授業を参観させていただきたいとお願いに伺った時も皆さん快く受け入れてくださいます。



◆退勤後や休日の過ごし方

退勤後は買い物をして、家族と夕食を作って食べたり、テレビや映画を見たりしています。少ない時間ではありますが、毎日の家族の時間を大切に退勤後の時間を過ごしています。

休日は、部活動のある日は半日部活動をしています。午前中が部活動の日は午後買い物に行ったり、時間のある時には出かけたりするなど、家族と過ごす時間にしています。午後部活動がある日には、午前中は家族と一緒に掃除をするなど、家事をする時間にしています。

◆山梨県のよいところ

山梨県の良いところは人と人とのつながりが強いところだと思います。初めて山梨県の学校に勤務した時は県外出身者の自分がうまく馴染めるのか不安に思っていたのですが、先生方も地域の方々もとても優しくくださり、不安に思う事もなくなりました。また、勤務する学校や、地域が変わってからも、「元気でやってる?」、「新しい学校はどう?」、「いつでも話にきてね」と連絡をくださって、山梨の方の暖かさやつながりの強さを感じました。そんな山梨県だからこそ、今も安心して過ごさせていますし、私の第二の故郷だと思っています。

◆山口実咲喜先生の1日

内容	解説
出勤	6時に起床します。 学校に着いたら、今日の授業の最終確認を済ませます。
朝練習	朝の部活動練習に参加します。生徒の様子を観察します。
朝礼	毎日その日の予定や、学年での動きを確認します。生徒の共通理解をする場でもあります。
授業	週の時間割に合わせながら通常学級 2 クラスと特別支援学級の授業を行っています。生徒たちが英語を使って積極的に交流を図ろうとしている姿を見ると、とても嬉しくなります。
給食 昼休み	生徒とともに給食の準備を行います。生徒は自分の役割を考えて動き、協力し合って準備を進めています。
授業	午後の授業が始まります。授業のない時間には、教材研究をしたり、宿題のチェックをします。また、他の先生の授業を参観させていただき、勉強させていただいています。
清掃	それぞれの分担場所で掃除を行います。
帰りの会	一日の出来事を振り返り反省する時間です。私は特別支援学級の担任なので、担当の生徒が所属している交流学級に入って支援を行っています。
放課後	基本的には部活動の指導に入ります。教室では見られない生徒の姿を見ることができ、教室以上に生徒と話をすることもできます。部活動のない日には、会議や研究会が行われる日もあります。
退勤	部活動終了後、次の日の授業準備を行ったり、周囲の先生と生徒の様子について話したりしています。授業のアドバイスがもらえたり、生徒指導について教えていただけたらするので毎日勉強になっています。